

令和元年度 第10回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:令和2年1月28日(火) 9:30~9:55

◆開催場所:職員会館大会議室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

・岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について

.....子育て施設課・教育総務課・行財政改革課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について』

〈説明者〉池宮子育て施設課長、倉橋参事、松阪担当長

高井教育総務課長、井上参事、金永主査

渡邊行財政改革担当理事、新内行財政改革課長

〈他出席委員〉山本子育て応援部長、藤浪教育総務部長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈総務部長〉付議依頼書別紙の人員増の必要性欄に「無」と記載されている。人員増という認識をしていた
がいかがか。

〈倉橋参事〉令和2年度から、組織・機構の改編により、こども園推進課が設置される予定であり、既定の
事項であるという認識で「無」とした。

〈総務部長〉新たな認定こども園を設置する候補地として、4つの指標に基づいて3か所選定している。そ
れぞれの候補地について、指標の詳細なバックデータを本計画案で示す必要はないのか。

〈倉橋参事〉選定指標の1つである「待機児童」の分布については、「子ども・子育て支援事業計画」で現
状分析を行っているため、そちらを参照することとし、改めて本計画では掲載しない。

〈総務部長〉旧春木体育館跡地では、再編対象となる施設が1か所のみであるが、施設の集約の点につ
いてどのように説明するのか。

〈倉橋参事〉旧春木体育館跡地の面積・立地状況等を考慮すると、複数の施設を再編することが現時点で
厳しいと判断した。施設全体で老朽化が進んでいること、市有地かつ更地であり直ぐに着手
可能等の理由から候補地としている。

〈総務部長〉市有地に、民間の法人が認定こども園を設置・運営することになっているが、将来的にこの土
地の帰属はどのように考えているか。

〈倉橋参事〉売却を考えている。ただし、今後の状況により売却困難であるようなことがあれば、別の方法
を検討する。

〈総合政策部長〉法人の選考方法について、「選考過程における公平性や透明性を確保するため、外部有識者で構成する選定等委員会を設置」とあるが、この外部有識者の選定についても同様に、公平性・透明性を十分に確保されたい。また、在園児の「取扱い」という表現が使われているが、「対応」といった文言に改められたい。

〈土佐副市長〉再編方針のなかで、「“地域（3次生活圏）”を単位に再編を検討」とあり、今回の第1期計画では、6地域ある3次生活圏のうち、3地域でまず再編を進めることとしている。ただし、第2期以降の計画では、必ず残りの3地域を優先して行うということではなく、場所の確保や待機児童の状況等を鑑み、柔軟に検討する方がよいとなる可能性もあると考える。また、今後の課題については、予め十分に検討し、担当者間で共通認識を持っておくように。

〈小山副市長〉本内容について原案どおり政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年1月 24 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 子育て応援部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	本計画(案)は、令和元年12月に策定した「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針」に基づき、市立幼稚園と保育所再編の実施方策、計画の期間、再編対象となる施設等の内容を具体的に示すため策定するものである。 3月議会で関連議案の提案とあわせて本計画(案)を説明した上で、地元説明、候補者選定等を進めていくに当たり、政策調整(決定)会議に附議するものである。
説明者	子育て応援部子育て施設課:池宮、倉橋、松阪
	教育委員会総務部総務課 :高井、井上、金永
	財務部行財政改革課 :渡邊、新内
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和元年度 第11回会議
付議事項	岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について

★取組の目的

対象	就学前児童
どのような状態を目指す	就学前児童の保護者にとって良好な幼児教育・保育環境を実現するため、市立幼稚園及び市立保育所の再編を実施する。

★総合計画上の位置付け

102010201	基本目標	I－2 次世代を育てる
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)安心して子どもを生み育てている
	目指す成果	②仕事と子育てが両立できている
	行政の役割	ア 安心して子どもを預けられる環境を整える

★現状と課題

幼稚園の就園率の低下、保育所の待機児童の発生、施設の老朽化等様々な課題が生じている。
本計画(案)は、令和元年12月に策定した「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針」に基づき、市立幼稚園と保育所再編の実施方策、計画の期間、再編対象となる施設等の内容を具体的に示すため策定するものである。
3月議会で関連議案の提案とあわせて本計画(案)を説明した上で、地元説明、候補者選定等を進めていくに当たり、政策調整(決定)会議に附議するものである。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
特定教育・保育施設整備費補助金 認定こども園施設整備支援事業費補助金		0	0	0	297,000	597,000	—	—	—
財源内訳	国費				249,000	501,000			
	府費								
	起債				39,000	78,000			
	一般財源				9,000	18,000			
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		894,000			297,000	597,000	0	0	0

※財源については、子育て安心プランが採択された自治体における国の保育所等整備補助金の拡充(1/2→2/3)が継続されると仮定し算定している。

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	(無)		0	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①	本計画(案)により設置される 幼保連携型認定こども園数 (累計)	園	0	0	0	0	0	3	3	3
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。